

2024年 9月17日
京成電鉄株式会社

京成押上線連続立体交差事業

京成立石駅の駅舎外装デザインが決定しました

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、東京都および葛飾区と連携し、京成電鉄押上線(四ツ木駅・青砥駅間)連続立体交差事業を進めております。このたび、新しく整備される京成立石駅について駅舎の外装デザインが決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

○ コンセプト

これまでの立石の伝統・産業をこれからの立石に繋げる、新しい立石の拠点となる駅

○ 外装イメージ



※ 外装イメージは現時点のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

以 上

京成立石駅の駅舎の外装について

1. 京成立石駅について

① これまでの「立石」

立石の地名は、立石8丁目にある「立石様」と称する奇石に由来しており、京成立石駅の周辺は、南北の商店街を中心に活気があふれる商業の街である。

また、かつては川を活かした産業が盛んで、多岐な分野にわたり、工業・商業地帯として発展してきた。

キーワード：石、商業、工業、産業、川



② これからの「立石」

京成押上線（四ツ木駅～青砥駅間）連続立体交差事業に伴い、京成立石駅の高架化に向け、工事を推進している。

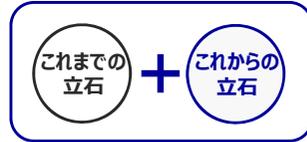
また、京成立石駅の北側・南側それぞれで再開発事業が進められており、京成立石駅周辺が住居や商業等で賑わい、一体的な新しい街として発展していく。

キーワード：賑わい、新しい街、発展

2. コンセプト

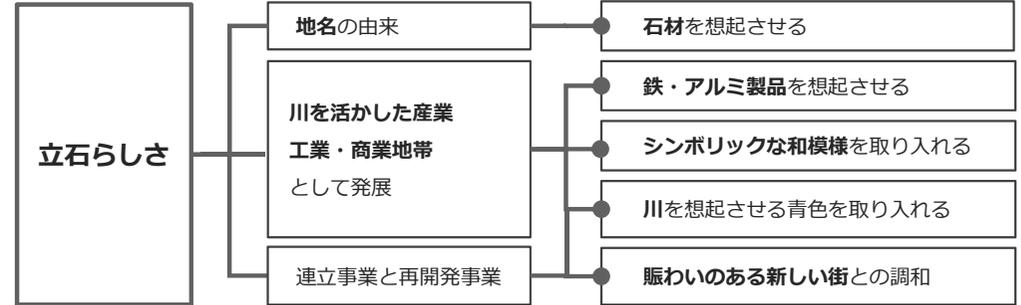
これまでの立石の伝統・産業をこれからの立石に繋げる、新しい立石の拠点となる駅

コンセプトの概念



新しい京成立石駅

コンセプトの要素



3. 外装イメージ



【外装イメージ（北東から望む）】

※ 外装イメージは現時点のイメージであり、実際とは異なる場合があります。